

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

目標1 子どもの安心・安全を守ります

1-1. 子どもの権利を守るための相談及び救済窓口を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)/実績(数値があるもののみ)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3	R3		
1	子どもオンブズパーソン (児童青少年課) ＜重点事業＞	子どもの声を聞き「子どもにとっていちばんいいこと」を一緒に考えて考える場所を設置する。	子どもオンブズパーソン(仮称)の設置(設置後の実施状況も含む)	検討	検討	準備	実施	継続	継続			結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	令和2年度から継続して基本的な考え方について子どもの権利部会にて検討し、令和3年8月に報告された審議内容に基づき、条例制定に向けて準備を実施。 令和4年2月17日「小金井市子どもオンブズパーソン設置条例」を制定した。 次年度上半期は開設に向けて準備を行い、下半期から事業を実施する予定。 子どもに対する機関の周知及び利用促進について、効果的に実施していくことが課題である。
2	虐待対応事業 (子育て支援課) ＜重点事業＞	子どもを虐待から守るため、児童相談所や民生・児童委員、警察署、その他関係機関とのネットワークを強化し、関係改善が必要な親子へのサポートなどを行う。	虐待相談件数(件)	615	維持 1,091	維持 1,618	維持	維持	維持			結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	虐待相談件数(件) 1,618件 ケース検討会開催回数(回) 53回 虐待相談件数は前年度に比べ新規受付件数、継続件数ともに大幅に増加した。新型コロナウイルス感染症流行により、在宅ワークが増え、家庭内での生活が変化し、また、積極的な他者交流ができないことから、ストレスが増加した影響と思われる。 ケース検討会議は前年度に比べ減少したが、コロナ禍においても感染防止対策を行いながら、必要に応じて実施することができた。 今年度に関しては、明らかに虐待が増えたと言える。社会的な情勢もあり、大人側の不安や心配(経済的、社会的)が解決できない難しさが課題。引き続き、関係機関との連携を密に、役割分担のもと、早期発見・早期対応に努める。
			ケース検討会開催回数(回)	73	漸増 45	漸増 53	漸増	漸増	漸増				

1-2. いじめ・虐待等の防止と早期発見を図ります

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)/実績(数値があるもののみ)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3	R3		
1	虐待防止啓発事業 (子育て支援課) ＜重点事業＞	子どもが相談できる窓口を周知するとともに、体罰などによらない子育てなどの相談を行う。また、要保護児童対策地域協議会での虐待防止マニュアルの活用や構成機関への巡回訪問を行う。	児童虐待防止キャンペーンの実施	実施	拡充	拡充	拡充	拡充	拡充			結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	要保護児童対策地域協議会構成機関(市内幼稚園、市内認可保育所、市立小・中学校等)への巡回訪問回数(機関数) 68機関/71機関 児童虐待防止キャンペーンについては、例年の武蔵小金井駅頭・東小金井駅頭でのグッズ配布等に替え、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症予防対策として、市役所第二庁舎風除室スペースを活用し、啓発ポスター掲示やチラシ、リーフレットの配架、啓発グッズや子ども家庭支援センター案内のポケットティッシュを配置し実施した。多くの方に目にいただき、リーフレット等手にとっていただくことができた。 巡回訪問では、新設の保育園を含めて訪問することができ、学校等には子どもが相談できるよう子ども家庭支援センターを案内するグッズを配布した。また、年度末ではあるが、虐待防止マニュアルの見直しを行い、子ども家庭支援センターへのつなぎ方等具体的な中身に改定した。 次年度も、感染予防に努めながら、作成したマニュアルの活用を周知しつつ、児童虐待防止の啓発に努める。関係機関を巡回訪問し、要保護児童対策地域協議会への理解・協力を働き掛け、児童福祉施設・学校等の連携を強化していく。
			要保護児童対策地域協議会構成機関への巡回訪問回数(機関数)	45	拡充 64	拡充 68	拡充	拡充	拡充				

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

1-4. 普及啓発を推進し、子どもの権利がいかされる社会環境づくりを進めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)/実績(数値があるもののみ)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3	R3		
1	子どもの権利の広報活動 (児童青少年課) ＜重点事業＞	ホームページやリーフレット等による周知・広報を行う。また新たな方法についても検討する。	周知・広報の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続			結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	市立小・中学校新一年生ヘリーフレットを配布した他、のびのび小金井っ子や保育園案内など市の広報媒体へ掲載。その他、子どもイベントを実施する団体を後援する際、チラシへの掲載協力を依頼した。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響で、子ども週間行事や市民まつり等イベント会場における広報活動は中止となった。 また、子どもオンブズパーソンの設置準備に伴い、パブリックコメントや子どもの意見聴取、市民説明会、公民館における子どもの人権講座準備など様々な機会に合わせて子どもの権利の周知の機会とした。青少年問題協議会においてコロナ禍における子どもの権利啓発リーフレットを発行、未就学児から中学生の保護者に対し、施設を通じて配布した。 次年度は子どもオンブズパーソンの開設に伴う周知活動と合わせて効果的に実施する予定。
												子ども・子育て会議意見	

目標2 子どものゆたかな体験と仲間づくりを支えます

2-3. 子どもの居場所と交流の場を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)/実績(数値があるもののみ)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3	R3		
1	子どもの居場所づくりの推進 (子育て支援課・児童青少年課) ＜重点事業＞	子どもの居場所に関するネットワークづくりを進めるとともに、子どもの居場所のあり方について関係者により継続的検討を行うことにより、子どもの居場所の推進体制を整備する。	子どもの居場所に関するネットワークづくり	—	実施	実施	実施	実施	実施			結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会による、子どもが今の自分の気持ちでいきたいところを検索できる子どもの居場所サイト「えにえに」の情報サイトの充実や子どものあそびばたんけんマップの作成に当たって協力し、その広報に努めた。 子ども・子育て会議に子どもの居場所部会(子ども・子育て会議の一部の委員で構成)を設置し、子どもの居場所について議論した。 令和4年度においても、子どもの居場所部会では引き続き議論し、子どもの居場所に関するビジョンを市と共同で作成することを目指す。
		子どもの居場所のあり方の検討を踏まえ、子どもや保護者が気軽に立ち寄れる地域の居場所づくりを推進する。どの家庭も孤立せず、地域とつながるように、地域全体で家庭を支援する環境を整備する。	関係者による子どもの居場所のあり方の継続的検討	—	実施	実施	実施	実施	実施				
			子どもの居場所づくりの推進	—	検討	実施	継続	継続	継続				
2	児童館事業 (児童青少年課) ＜重点事業＞	子どもの健全育成として、小学生対象のグループ活動などのほか、中・高校生事業、子育て支援、子育てグループの活動支援などについて、開館時間の延長も行い実施する。新たな児童館の整備を含めた児童館の在り方を検討する。	来館者数(人)	98,875	漸増 51,840	漸増 70,090	漸増	漸増	漸増			結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	来館者数(人) 70,090人 開館延長時の利用者数(人) 12,793人 令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めながら事業運営を行った。令和3年度も引き続き中止したり、例年より大きく縮小した事業は多く、実施した事業についても基本的に通常の半数以下の定員を設けた。だが中には緊急事態宣言解除後の10月より少しずつ人数を増やして実施した事業もあった。児童館やその学年によるが、来館者数は概ね前年度より増えた。 同じく前年度を引き継ぐ形で、オンラインでだされた謎を解きながら児童館を巡るという事業を夏休みに実施したが、期間中いつでも参加できることが裏目に出たのか、その反響は今一つだった。だが、その後10月、3月に都立公園で「肝試し」「逃走中」といったイベントを四館合同で実施したが、定員を3倍を超える申込があるなど人気を呼んだ。子どもたちが一堂に会するイベントを子どもたち自身が欲していたという表れと受け取った。 これまでは事業ごとにできるかできないかの検討だったが、令和4年度はすべての事業においてどうやったらできるかを検討すべき時期にあると考える。マスクの着用非着用、従来から子どもたちから人気のある調理や宿泊を伴う行事。遠足の公共交通機関の使用、など課題は多いが、少しずつ前進したい。
			開館延長時の利用者数(人)	18,096	漸増 8,190	漸増 12,793	漸増	漸増	漸増				

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

目標3 子どもを生み育てる家庭を支援します

3-1.経済的負担を軽減します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)/実績(数値があるもののみ)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3	R3		
1	施設等利用給付の上乗せ (幼稚園) (保育課) <重点事業>	私立幼稚園等に在籍する子どもの保護者の負担軽減をさらに図るため、上限額に上乗せして給付を行う。	受給者数(人)	18,063	維持 17,895	維持 18,639	維持	維持	維持	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 受給者数(人) : 18,639人 前年度と比べると受給者数自体は増加した。 受給資格者における受給者数の割合(%) 100% 施設等利用給付認定を受けている児童の保護者全員に対し、負担軽減を実施することができた。 		
			受給資格者における受給者数の割合(%)	100.0	維持 100.0	維持 100.0	維持	維持	維持			子ども・子育て会議意見	
2	施設等利用給付の上乗せ (認可外保育施設) (保育課) <重点事業> □	一定の基準を満たす認可外保育施設に在籍する子どもの保護者の負担軽減をさらに図るため、上限額に上乗せして給付を行う。	受給者数(人)	2,984	維持 2,941	維持 3,052	維持	維持	維持	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 受給者数 3,052人(4月~3月分) 受給資格者における受給者数の割合 100% 受給者数 前年度実績より受給者数は増となった。 受給資格者における受給者数の割合 受給資格者のうち、施設等利用給付の上乗せを受給しなかった者は、基本部分で保育料が無償化となったためであり、受給資格者全てに対し、負担軽減を実施することができた。 		
			受給資格者における受給者数の割合(%)	100.0	維持 100.0	維持 100.0	維持	維持	維持			子ども・子育て会議意見	
4	義務教育就学児医療費助成制度の拡充 (子育て支援課) <重点事業>	病気やけがにより、健康保険が適用される医療行為や薬剤提供を市内在住の小中学生が受けた場合に、自己負担すべき額から通院一回あたり200円を控除した額を助成する。	所得制限の段階的廃止の進捗状況	検討	準備	拡充 (小学校4年生~6年生)	準備	拡充 (中学校1年生~3年生)	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	令和3年10月1日付けで、小学校4年生から6年生までの所得制限を廃止した。 令和5年度に予定しているさらなる拡充(中学校1年生から3年生)に向けた準備(例規整備・予算確保等)を行う。			
								維持			子ども・子育て会議意見		

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

3-2.母子保健事業を充実します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)/実績(数値があるもののみ)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3	R3		
1	母子保健健康相談事業 ①乳幼児保健相談 ②乳幼児健康相談 ③出張健康相談 (健康課) <重点事業>	育児不安の解消を図るため、保健師等に気軽に相談できる場を確保し、育児支援を行う。	乳幼児健康相談利用者数(人)	914	漸増 253	漸増 286	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	乳幼児健康相談利用者数(人)286人 出張健康相談利用者数(人)232人 新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者数が減少した。また両事業において予約制としたことや、感染予防策を徹底し、実施したことにより、1会場あたりの来所可能者数を制限したため利用者数が減少した。次年度についても新型コロナウイルス感染症の影響で実施状況が左右される可能性が高いが、感染予防策を徹底したうえで本事業を実施することやすることや止む無く実施できない場合には電話や必要時訪問フォローをすることで母子の健康につなげる。		
			出張健康相談利用者数(人)	1,107	漸増 345	漸増 232	漸増	漸増	漸増			子ども・子育て会議意見	
11	産後ケア事業 (健康課) <重点事業>	出産直後の母子に対して心身のケアや育児サポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。	産後ケア事業延べ利用者数(人)	—	実施 31	漸増 129	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	産後ケア利用者数実数:32人 デイ利用者延べ数:45人 宿泊利用者延べ数:52人 産後ケア事業は、特定の利用者が何度も利用している状況である。また、令和4年度より利用対象者が拡大し、自己負担額が減額されたことから、桜町病院での利用混雑を避けるため、他の施設についても産後ケア事業が利用できるか検討を進める。		
			子ども・子育て会議意見	せっかく実施している事業については、ちゃんと市民に届くような仕組みというもセットで考えていただきたい。									

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

12	子育て中の保護者グループ相談 (子育て支援課) ＜重点事業＞	育児に強い不安や困難を感じている保護者を対象に、子育てや自分についての思いを話したり、必要な情報や支援を見つける場を関係機関と連携し、提供する。また、育児に関する日ごろの悩み相談や保護者同士の交流を必要とする保護者の継続支援を行う。	育児不安親支援事業延べ参加人数(人)	15	漸増 28	漸増 26	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	育児不安親支援事業延べ参加人数(人) 26人 お母さんグループ延べ参加人数(人) 43人 育児不安親支援事業については、前年度に引き続き定着した参加者で実施できた。新型コロナウイルス感染症流行下ではあるも、話ができる場への参加ニーズはあり、不安軽減の場になっている。 お母さんグループについては、他のグループ事業を開始したり、引き続き、新型コロナウイルス感染症流行下ということもあり、利用者数は減少したが、子どもと離れ、同じ立場の大人同士で交流できる機会が参加者のよりどころとなっている。 グループ活動が、大人同士の交流を通じ、育児に関する不安や負担の軽減につながっているため、引き続き実施をしていく。新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、安心してグループ活動が行えるよう引き続き努めていく。
			お母さんグループ延べ参加人数(人)	127	漸増 61	漸増 43	漸増	漸増	漸増		
子ども・子育て会議意見											

3-3.子育てに関する相談・支援、情報提供、学習機会を充実させ、支援を強めます

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3		
1	子育て情報の提供 (子育て支援課) ＜重点事業＞	市報、ホームページ、子育てに関する総合冊子を活用するほか、民間の子育て支援サイト「のびのびーの！」と連携し、子育て情報の提供を行う。	市報、ホームページ、子育てに関する総合冊子を活用した情報提供	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	「みんなで子育て応援ブック のびのびこがねいっ子2021」を発刊し、子育てに関する情報提供を行った。また、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会による、子どもが今の自分の気持ちでいきたいところを検索できる子どもの居場所サイト「えにえに」の情報サイトの拡充に当たって協力し、その広報に努めた。次年度においても「みんなで子育て応援ブック のびのびこがねいっ子2023」の発刊に向けて作業を行うとともに、子育てに関する情報提供に務める。
			子育て支援サイト「のびのびーの！」との連携	実施	継続	継続	継続	継続	継続			
子ども・子育て会議意見												
2	子育て総合相談 (子育て支援課) ＜重点事業＞	子ども家庭支援センターを窓口とした、子どもや子育てに関する総合相談、情報提供。関係機関と連携し、他の支援機関や子育て支援ネットワークづくりに繋げる。	相談件数(件)	3,087	漸増 4,414	漸増 5,429	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	総合相談件数(件) 5,429件 前年度に引き続き、全体的に増加した。虐待相談を含む養護相談では、児童相談所からの送致件数が増大した。前年度同様、新型コロナウイルス感染症流行があり、家庭内での生活が増え、それによるストレスから、家庭内トラブルに関する相談が増えた。年齢別でも、前年度同様、小学校高学年から高校生までの親子関係に関する継続相談が多かった。 いつでもだれでも相談できる窓口としての周知を促進し、子育ての悩みや不安の軽減の場、子どもが相談できる場になるよう、丁寧な対応と必要時の関係機関連携を推進していく。	
			子ども・子育て会議意見									

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

目標4 子育て、子育てに困難を抱える家庭を支援します

4-1.ひとり親家庭を支援します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3		
1	ひとり親家庭へのホームヘルプサービス派遣 (子育て支援課) <重点事業>	20歳未満の子どもがいるひとり親家庭で、家事または育児などの日常生活に支障がある場合、ホームヘルパーを派遣する。	周知や広報等の実施	実施	継続	拡充	拡充	拡充	拡充	拡充	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	利用世帯数(世帯)1世帯 新型コロナウイルス感染拡大の関係もあり、相談者が通常より減少している。 次年度も市報や市ホームページだけでなく、Twitterの活用も行っていく。 また、新型コロナウイルスワクチン接種時の副反応にも対応可能である旨の広報を引き続き行う。
			利用世帯数(世帯)	5	漸増 3	漸増 1	漸増	漸増	漸増	漸増		

4-2. 特別な配慮が必要な子ども(障がい児等)と家庭を支援します

番号	事業名称 (担当課)	事業の内容	参考指標	実績	計画(年度)/実績(数値があるもののみ)						結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3		
1	認可保育所での特別支援 保育 (保育課) <重点事業>	公立保育所および民間保育所の全園で、可能な限り特別な配慮が必要な児童(医療的ケア児を含む)の保育を行う。	公立保育園の障がい児入所人数 (人)	13	漸増 27	漸増 30	漸増	漸増	漸増	漸増	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	公立保育園の障がい児入所人数(人) 30 民間保育園の障がい児入所人数(人) 51 公立保育園では5園全園で実施、民間保育園では21園で実施し、それぞれ受入数が増加した。 引き続き、拡充を検討する。
			民間保育園の障がい児入所人数 (人)	28	漸増 39	漸増 51	漸増	漸増	漸増	子ども・子育て会議意見		
2	学童保育所での障がい児 保育 (児童青少年課) <重点事業>	学童保育所全所で障がい児の 保育を行う。	希望人数に対する受入者数の割合 (%)	100	維持 100	維持 100	維持	維持	維持	結果の説明 及び 次年度に向けての 課題、検討内容	希望人数に対する受入者数の割合(%)100% 障がいのある児童も他の児童と同様、入所基準を満たした場合は希望する学童保育所へ入所する体制となっていることから、本事業は維持することができている。 (次年度に向けての課題)引き続き、入所基準を満たした児童の学童保育所への入所を継続したい。	
			子ども・子育て会議意見									

のびゆくこどもプラン 小金井(第2期小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表3(重点事業のみ)

3	障がい児の緊急・一時預かり(保育課) ＜重点事業＞	保護者の病気などで障がいのある子どもの一時的な預かりを必要とした場合、保育所や障がい者の施設で一時的に預かりを行う。	保育所での障がい児の緊急・一時預かりの実施	検討	検討	検討	検討	検討	検討	結果の説明及び次年度に向けての課題、検討内容	一時保育の職員体制等の理由により、実施することは困難であるが、児童発達支援センターにおいて実施することを引き続き検討する。
										子ども・子育て会議意見	障がい児の一時預かりを保育所のみで受けていくということが不可能に近いことは理解できるので、それを子ども・子育て支援事業計画の重点事業に入れていること自体に無理がある。次回の計画策定に当たっては、中身の見直しも検討したい。

目標6 地域の子育て環境を整えます

6-1.地域の子育てネットワークを整備します

番号	事業名称(担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)/実績(数値があるもののみ)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3	R3		
1	子育て支援ネットワーク(子育て支援課) ＜重点事業＞	保育所、幼稚園、子育てサークル、NPOなどの子育て支援団体との協働によるネットワークをつくり、相互援助と情報発信を行う。	子育て・子育て支援ネットワーク協議会参加団体数(団体)	68	漸増	94	漸増	100	漸増	漸増	漸増	結果の説明及び次年度に向けての課題、検討内容	子育て・子育て支援ネットワーク協議会参加団体数(団体)100団体 小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会については、様々な機会に積極的に呼びかけを行うことにより、加入団体数が順調に伸びており、目標を達成できた。なお、ネットワーク協議会の関連事業については、市職員も積極的に参加し、相互理解に努めるようにした。また、各団体の活動・取組状況については、子育てメッセこがねいや小金井子育て・子育て支援サイト等から把握に努めたところである。次年度においても、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会が安定的、継続的な活動を行えるよう、引き続き補助金を交付する。また、市内の団体加入促進を始め、活動の広報等支援を行っていく。
				子ども・子育て会議意見									

6-3.地域の公共施設の活用を進めます

番号	事業名称(担当課)	事業の内容	参考指標	実績						計画(年度)/実績(数値があるもののみ)		結果(年度)	
				H30	R2	R3	R4	R5	R6	R3	R3		
1	子育てに配慮した公共施設の改善(子育て支援課) ＜重点事業＞	子連れで外出しやすいよう公共施設の環境を整備する。市の施設については、おむつ替え、授乳スペースを設置する等、子育てに配慮する。	赤ちゃん休憩室事業の実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	結果の説明及び次年度に向けての課題、検討内容	移動式赤ちゃん休憩室貸出件数(件) 0件 新型コロナウイルス感染症の影響により、乳幼児を対象に含むイベントが見合わされ、貸し出しに至らなかった。引き続き、機会に応じて貸し出し、事業の実施を継続する。	
			移動式赤ちゃん休憩室貸出件数(件)	9	漸増	0	漸増	0	漸増	漸増	漸増	子ども・子育て会議意見	